

令和4年度 栃木支部の収支状況（暫定）

資料1-2

【支部別収支作成の目的】

令和4年度の都道府県単位保険料率は、2年前の令和2年度の実績の医療費や総報酬額をもとに収支を見込んだうえで算定しているが、支部別収支の収支差は、医療費等が料率算定時の見込みからどの程度、乖離したのかを表している。なお、支部別収支の収支差は、2年後の都道府県単位保険料率算定の際に精算することとされており、支部別収支の作成は、この精算すべき額を算出することを目的としている。

（今回の支部別収支の収支差は、令和6年度の都道府県単位保険料率の算定の際に精算されることになる。）

(単位:百万円)

		令和4年度決算(見込)	
		全国	栃木支部
収入	保険料収入	10,042,109	130,961
	その他収入	17,876	288
	計	10,059,985	131,249
支出	医療給付費(国庫補助を除く)(調整後)	5,464,385	70,245
	医療給付費	5,464,385	71,963
	年齢調整額	—	▲ 879
	所得調整額	—	▲ 839
	現金給付等(国庫補助を除く)	520,795	6,859
	前期高齢者納付金等(国庫補助を除く)	3,379,490	44,508
	業務経費(国庫補助を除く)	148,051	1,950
	一般管理費(国庫補助を除く)	77,123	1,016
	その他支出	38,198	503
	令和2年度の収支差の精算	—	422
	令和2年度のインセンティブ	—	▲ 323
	加算額	—	90
	減算額	—	▲ 413
	計	9,628,043	125,180
	単年度収支差(A)		431,942
収支差 内訳	全国平均分(全国の収支差を按分)(B)	431,942	5,689
	地域差分(A)－(B)	—	380

※支部別収支は暫定値であるため、今後、変動がありうる。

令和6年度の保険料率の算定においては、令和4年度の都道府県支部ごとの収支における収支差(地域差分)について精算する。収支差(地域差分)がプラスならば収入に加算され、マイナスならばマイナスをとったものが支出に加算される。

栃木支部の単年度収支差6,069百万円が全国の収支差を按分した5,689百万円を上回ったことから、超過した380百万円を令和6年度の収入に加算し、調整する。なお、参考値ではあるが、当該収支差(地域差分)を令和4年度の総報酬額の実績に基づき、保険料率に換算すると▲0.03%となる。

(参考) 一人当たり医療給付費と支部別収支差 (地域差分) の精算について

一人あたり医療給付費の推移 (月報ベース)

	H30	R1	R2	R3	R4
全国	141,241	145,087	141,549	152,537	159,624
(対前年比)		2.7%	-2.4%	7.8%	4.6%
(対前々年比)			0.2%	5.1%	12.8%
栃木	138,115	142,743	140,365	152,101	157,396
(対前年比)		3.4%	-1.7%	8.4%	3.5%
(対前々年比)			1.6%	6.6%	12.1%
全国との差	3,126	2,343	1,184	436	2,229

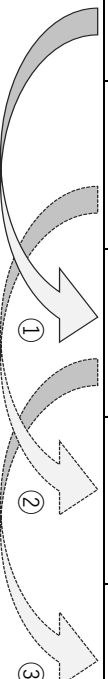
(円)

(参考:5年推移)

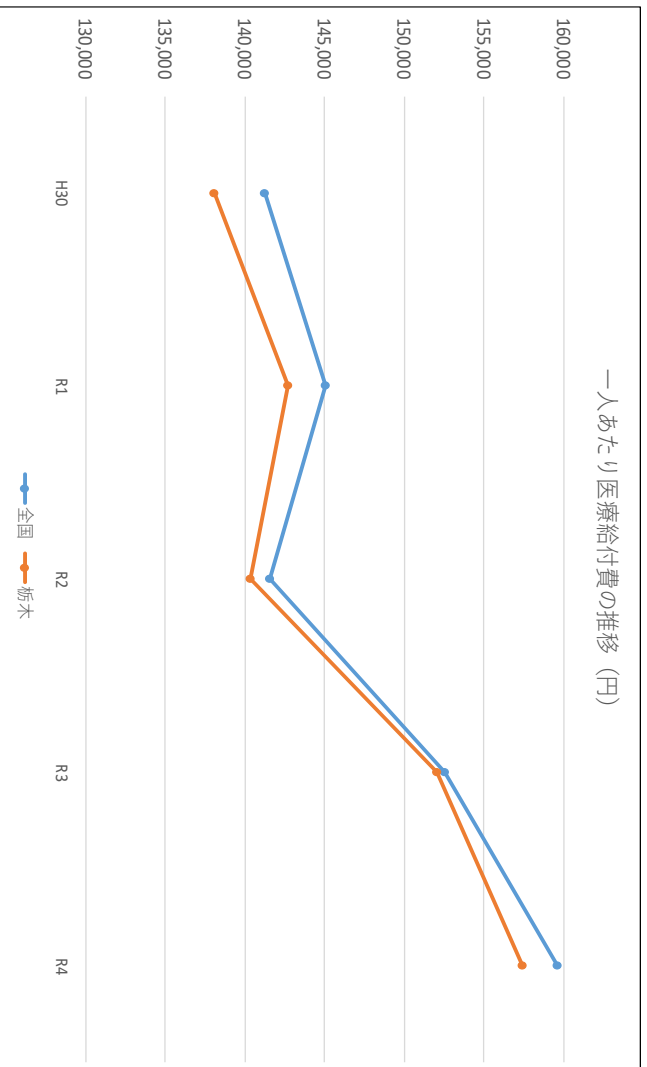
(全国)
H30→R4
13.0%

(栃木)
H30→R4
14.0%

	①H30→R2	②R1→R3	③R2→R4
全国差の増減 (対前々年)	-1,942	-1,907	1,044



一人あたり医療給付費の推移 (円)



決算から抜粋

(百万円)

	H30	R1	R2	R3	R4
地域差分の精算	-112	124	-422	-596	380

(注) 当該資料は月報等から作成したものであり、実際の決算や保険料率算定に用いる値とは異なる。